

# 第29回ポリマー材料フォーラム

## 参加募集

主 題=逆境の中、今こそポリマー研究の団結力！  
会 期=11月26日(木)～27日(金)  
会 場=オンライン開催

登録締切

10月30日(金) [当日申込なし]

<http://main.spsj.or.jp/pmf.html>

<趣旨>本フォーラムは、産学協同を目的とした材料に関する研究発表と交流のためのシンポジウムで、高分子材料の応用に関する最先端の情報が得られ、他分野のユーザーの方々と交流もできます。

2019年はリチウムイオン電池で吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞され、そこには多くのポリマー材料が使われていて、日本の技術力が証明されています。また、2020年は東京で夏季オリンピック・パラリンピックが開催予定で、社会的にも日本に注目が集まっています。

これからさらに新興国が次々と台頭するグローバルな中で、日本がより国際競争力を向上していくためには、技術イノベーションを生み出す必要があります。しかし、単に性能の良いものを生み出せば国際競争に勝てるのではなく、これからは環境調和や自然保護などの視点から、ポリマー材料を考える必要があり、サステナブルな社会実現のために、今後ますます産官学の活発な交流と連携が必要であると考えます。

今回も基本的には従来と同様各分野の動向を32件の招待講演でレビューしていただき、同時に約200件の研究発表(ポスター発表のみ)を設定しています。一部の講師の選定は他学協会と連携のもとに行いました。

本会の研究発表の特徴は「材料の開示を必須としない」ことであり、産業界からの積極的な情報発信を期待しています。丸一日というたっぷりのポスター時間を有効に活用して、自らの技術に関して存分に語っていただければ幸いです。さらに、産学連携のために大学の研究室の紹介ブースやミキサー会場には企業からの情報発信ブースを設置し、会話を深める場としてのイブニングフォーラムを行います。まだその他にも企画を考えています。多くのポリマー界の将来のメダル候補がこの会場にそろい、産官学を超えて、お互いの技術を磨き、競う場所にしたいと思っています。

### 主 催 高分子学会

協 賛 (予定)印刷インキ工業会 映像情報メディア学会 塩ビ工業・環境協会 塩ビ食品衛生協議会 応用物理学会 化学工学会 強化プラスチック協会 合成ゴム工業会 色材協会 自動車技術会 情報処理学会 シリコン工業会 石油化学工業協会 繊維学会 全日本プラスチック製品工業連合会 電気化学会 電子情報通信学会 日本印刷学会 日本 ABS 樹脂工業会 日本磁気学会 日本化学会 日本化学繊維協会 日本工業技術振興機構 日本合成樹脂技術協会 日本ゴム協会 日本ゴム工業会 日本材料学会 日本接着学会 日本接着剤工業会 日本塗装技術協会 日本塗料工業会 日本プラスチック工業連盟 日本レオロジー学会 表面技術協会 フィラー研究会 プラスチック循環利用協会 POF コンソーシアム 有機エレクトロニクス材料研究会 ラドテック研究会 セルロース学会 プラスチック成形加工学会

日 時 2020年11月26日(木)～27日(金)

会 場 オンライン開催

### 発表形式と運営

- 1) プログラムは、招待講演(口頭)、研究発表(ポスター)となります。  
11月26日(木)  
招待講演: ACセッション, ポスター発表: BDセッション  
11月27日(金)  
招待講演: BDセッション, ポスター発表: ACセッション
- 2) 研究発表は、全てポスター発表とします。オンラインでの発表となるため、詳細はホームページをご覧ください。
- 3) プレゼンテーションタイム、発表および討論をより活発にする目的で、コメンテータが研究発表のブース[会場開催では1ブース当り、10分間(説明7分、質疑応答3分)です]を順次訪ね、発表者と参加者との交流を促す時間も設ける予定です。詳細はホームページにてご確認ください。
- 4) オンライン開催のためイブニングフォーラムは開催いたしません。
- 5) 研究発表の中から、優秀発表賞を選定し、会誌「高分子」で紹介するとともに授賞式で表彰します。なお、受賞希望申請されたもののみが審査対象となります。
- 6) プログラム編成は運営委員会に一任願います。

### 著作権譲渡について

講演予稿集に記載された内容に関するすべての著作権(翻訳権、オンライン化権、などを含む)は高分子学会に帰属します。

### 参加登録要領

参加者(発表者および聴講者)は全員参加登録制とします。

[参加登録料(正会員及び法人会員[維持・賛助]所属の方)]

(消費税込)

	参加登録
企業	22,000円
大学・官公庁	13,250円
学生・フェロー・終身 ゴールド・シニア会員	5,500円
名誉会員	無料

※非会員の参加登録料は、上記金額に20,000円(学生の場合は10,000円)追加になります。

※予稿集は参加者全員に送付(無料)いたします。送料をお支払いいただいている方には、返金いたします。

※当日登録は行いません。10/30までにお申し込みください。期日以降は受付いたしません。

※参加資格に齟齬があった場合、会期後に精算させていただきますので、ご了承ください。

### 参加登録期間

- ・発表者 6/24～7/8(送金期限8/28)
  - ・一般参加者(聴講者) 9/1～10/30(送金期限10/30)
- 当日の登録は行いません。

### キャンセル期限

発表者 8月28日(金) / 一般参加者 10月30日(金)

※以降は、キャンセルのお申込があっても、参加登録料は返金できません。あらかじめご了承ください。

### 参加登録方法

- ①参加登録期間内にホームページから参加登録申込を行ってください。
- ・ご登録のe-mailに申込受付番号を付した受理通知が返信されます。
- ・受理通知が届かない場合は正しく登録されていない可能性があります。必ず下記宛にお問い合わせください。
- ・請求書をご希望の場合は、申込受付番号取得後、<https://member.spsj.or.jp/convention/pmf/>にアクセス、「参加登録・確認」からログインの上、請求書発行ボタンから発行が可能です。請求書希望の場合も振込期限までに送金ください。期限に余裕をもってご登録ください。
- ②参加登録期間内に参加登録料をご送金ください。
- ・郵便局払込取扱票に①の申込受付番号を含む参加登録番号、参加者氏名、郵便番号、住所、電話番号、その他必要事項を記入し、郵便局からご送金ください。1人1枚使用のこと。郵便局払込取扱票の受領書を領収書にかえさせていただきます。原則として本会から別途領収書の発行は行いません。
- ③参加登録完了について
- ・参加登録期間内における上記①と②の受理をもって予約参加登録完了となります。(上記①②いずれかの場合は参加登録は無効となります。)
- ・参加登録完了者には11月上旬に参加証のご案内をE-mailにて送付いたします。

連絡先 104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル  
高分子学会 第29回ポリマー材料フォーラム係  
電話 03-5540-3770, FAX 03-5540-3737  
e-mail [29pmf@spsj.or.jp](mailto:29pmf@spsj.or.jp)

## 第 29 回ポリマー材料フォーラム運営委員会

運営委員長 東 直樹 (PSジャパン)  
副運営委員長 石曾根 隆 (東京工業大学)

内藤 昌信 (物質・材料研究機構)

### Aセッション

SO 赤井 日出子 (三菱ケミカル)  
SO 富永 洋一 (東京農工大学)  
SOサブ 安田 知一 (日本医療研究開発機構)  
鎌田 香織 (防衛医科大学校)  
金野 尚武 (宇都宮大学)  
酒井 崇匡 (東京大学)  
佐藤 浩太郎 (東京工業大学)  
中澤 靖元 (東京農工大学)  
長崎 幸夫 (筑波大学)  
福島 和樹 (東京大学)  
松岡 浩司 (埼玉大学)  
宮路 正昭 (JSR)

### Bセッション

SO 田中 修吉 (日本電気)  
SO 桑折 道済 (千葉大学)  
SOサブ 植草 貴行 (三井化学)  
石曾根 隆 (東京工業大学)  
小柳津 研一 (早稲田大学)  
北野 正和 (ユニチカ)  
木島 正志 (筑波大学)  
小林 典仁 (ソニー)  
辻 早希子 (三菱総合研究所)  
真下 成彦 (ブリヂストン)  
山本 洋平 (筑波大学)

### Cセッション

SO 松谷 寛 (日立化成)  
SO 吉川 佳広 (産業技術総合研究所)  
SOサブ 村木 孝仁 (日立製作所)  
伊藤 耕三 (東京大学)  
上原 宏樹 (群馬大学)  
菊池 明彦 (東京理科大学)  
桑原 広明 (帝人)  
高井 まどか (東京大学)  
富田 育義 (東京工業大学)  
内藤 昌信 (物質・材料研究機構)  
横山 英明 (東京大学)

### Dセッション

SO 野副 寛 (富士フイルム)  
SO 青木 裕之 (日本原子力研究開発機構)  
SOサブ 眞田 隆 (住化カラー)  
青木 大輔 (東京工業大学)  
魚津 吉弘 (三菱ケミカル)  
木原 伸浩 (神奈川大学)  
木村 千也 (大日精化工業)  
小林 元康 (工学院大学)  
杉山 賢次 (法政大学)  
高沖 和夫 (住友化学)  
棚瀬 省二郎 (出光興産)  
森田 裕史 (産業技術総合研究所)  
矢島 知子 (お茶の水女子大学)

### 招待講演 (講演 40 分)

A, Cセッション 11月26日(木)  
B, Dセッション 11月27日(金)

<11月26日(木)>

#### Aセッション (ライフサイエンス・環境材料)

- 1 ポリマー材料を用いたガス分離膜 (明大院) 永井 一清
- 2 海洋生分解機能を有する澱粉をベースとする高分子材料 (阪大院) 宇山 浩
- 3 環境にやさしいプロセスを通じた植物芳香族系高分子【リグニン】の機能素材化 (産総研) 敷中 一洋
- 4 生分解性バイオマスプラスチックの高性能化 (東大院) 岩田 忠久
- 5 人工光合成技術開発の現状&社会実装に向けた課題と展望 (三菱ケミカル) 瀬戸山 亨
- 6 アミノ酸からなる高分子の機能性と構造的性 (京大院) 沼田 圭司
- 7 分解性と高性能を両立するバイオプラスチックの分子設計 (北陸先端大院) 金子 達雄
- 8 精密重合を用いた植物由来機能性バイオベースポリマーの開発 (東工大) 佐藤浩太郎

#### Cセッション (高性能・高機能材料)

※繊維学会・◎合成樹脂工業協会連携

- 1 高分子微粒子の界面吸着現象を利用する液滴の安定化 (阪工大) 藤井 秀司
- 2 表面・界面・薄膜 (九大) 田中 敬二
- ※ 3 スーパー繊維の極限強度の追及 (東洋紡) 福島 靖憲
- ◎ 4 改質剤ポリマーの新規構築法を基盤とした熱硬化性樹脂の高性能化 (横国大) 大山 俊幸
- 5 多孔性高分子錯体 (PCP, MOF) の実用化他、近年の動向 (日本製鉄) 上代 洋
- 6 形状制御ポリマー微粒子とその用途 (積水化成工業) 寺本 健三
- 7 凹凸や粘弾性の可変性による表面機能の拡張 (産総研) 大園 拓哉
- 8 高韌性複合材料の設計と創製 (北大) 龔 劍萍

<11月27日(金)>

#### Bセッション (電気・光・情報・エネルギー関連材料)

※応用物理学会連携

- ※ 1 MI を活用したスピン流熱電変換材料の開発(仮) (NEC) 石田 真彦
- 2 界面集積技術を用いた光電子機能性ハイブリッド高分子ナノ集積体の構築 (東北大) 三ツ石方也
- 3 希土類高分子が拓く次世代光機能材料の創成 (北大) 長谷川靖哉
- 4 高出力大型有機ラジカル電池の開発 (山形大) 岩佐 繁之
- 5 超分子材料によるソフトアクチュエータの開発 (豊田合成) 竹内 宏充
- 6 精密分子設計が切り拓く有機系発光分子の新展開 (九大) 安達千波矢
- 7 5G時代の高速・高周波基板材料の材料設計とビニル系低誘電損失材料の進歩 (日鉄ケミカル&マテリアル) 川辺 正直
- ※ 8 超薄型有機太陽電池による自立駆動型システム (理研) 福田憲二郎

#### Dセッション (ポリマー材料の設計・合成・加工・解析)

※日本接着学会連携

- 1 表面開始重合による機能性材料表面の創出 (工学院大) 小林 元康
- 2 スーパーグロースカーボンナノチューブの合成と応用展開 (日本ゼオン) 上島 貢
- ※ 3 アクリル系粘着剤の構造解析と機能製品 (リンテック) 杉崎 俊夫
- ※ 4 マレイミド樹脂を基盤とした液状耐熱性樹脂の開発 (コニシ) 佐藤 慎一
- 5 ヨウ素移動重合を利用した高吸水性樹脂の開発 (三洋化成工業) 宮島 徹
- 6 材料開発とレオロジー (京大) 渡辺 宏
- 7 日本触媒におけるポリマーインフォマティクスの取り組み (日本触媒) 右田 啓哉
- 8 高分子材料の力学変形下におけるその場凝集構造解析に基づく高強度化 (九大) 小推尾 謙